

光通すシート 照明に活用

バンドー化学（神戸市中央区）がデザイン専攻の学生らと連携し、光の透過性が高いポリウレタンシート用途開発を進めている。京都嵯峨芸術大（京都市）にシートを提供したところ、学生らは特性を生かして明かりのオブジェを完成させた。同市内の催しで公開しており、同社は「製品化の参考にできただ」と手応えを感じている。

バンドー化学 芸大生とコラボ

（佐伯竜一）

同社はコピー機部品向 展しようと計画し、芸術 を工夫。約3週間かけてけなどにポリウレタンシ 学部と短期大学の1回 オブジェを2基制作し トを生産。用途を広げ 生計12人がオブジェ制作 た。見学者からは「光が ようと研究開発を進め、 に取り組んだ。 映える」など評価する声 シートの柔軟性を維持し 提供したシートは長さ が寄せられた。 ながら光の透過性をアク 1尺、幅50センチ、厚さ3センチ。 学生らは「初めて見る リル並みに高めた。 学生の要望を受け、3センチ 素材で、特長を引き出す 昨年末、同社関係者の 4センチ幅に切って引き渡し よう心がけた。スマート フォン（多機能携帯電話 知人がいる同大にシート た。学生らはひも状に長 のカバーに使っても面白 を提供。同大は毎年参加 かつつなげたり、7色の発 のカラーに使用している。 している灯りのイベント 光タイオード（LED） そつだ」と意欲的。芸術 学部は「京都東山花灯路」に出 照明を当てたりと見せ方 学部の楠林拓准教授は

オブジェ制作 京都照らす



柔軟性に優れ、光の透過性が高いバンドー化学のポリウレタンシートを使い、京都嵯峨芸術大の学生らが制作した明かりのオブジェ＝京都市東山区、円山公園（同大提供）

「企業の最前線と触れ合 したい」と2012年度 うことは刺激になる」と にも製品化する考え。催 意義を語る。 しは20日までで、同大の 同社は「社内だけでは オブジェは東山区の円 思いもつかない発想に触 山公園で展示している。 れられて新鮮。さまざま 点灯は午後6時～9時 な場面で使えるように半。